(様式1)

Beyond Limits. Unlock Our Potential. 世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画

コンソーシアム等の名称:大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム

1 . <u>エコシステム形成の目標·KPI</u> 1/2

大阪のエコシステムの強み・機会を活かし、弱み・脅威の補完に取り組み、世界に伍する拠点を構築する

大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム主要な取組

既存強化 既に進めている取組を更に加速推進

新規

新たに強化する取組

阪 大阪で取り組む予定

京阪神連携で取り組む予定

国・京阪神連携で取り組む予定

強み (Strengths)

- 他都市に先駆けてスタートアップ育成に取組んでおり、知の集積、ネットワークがあり、 実際にスタートアップ数が全国第2位(起業人材が一定数存在)
- 大企業、高水準な大学・研究機関の集積地(シーズの集積地)
- 大学を中心としたアントレプレナー教育の充実、優秀な学生、シード人材が豊富
- 高い技術を有するものづくり企業が集積するアジャイル開発都市
- 産官学金各プレイヤーの一体感、横のつながり
- 海外における知名度の高さ、住みやすさ

機会を 捉え

📵 起業家人材ネットワークの拡充、支援の仕組みの強化

既存強化

|ໝ 大学・研究機関と連携したシーズを活用した起業の促進

既存強化

┃ໝ スタートアップコミュニティと多彩な人材のマッチング

既存強化

🔞 大企業とスタートアップの連携・協業機会の拡大

既存強化

🔯 ものづくり企業との連携によるアジャイル開発基盤の構築

新規

- "「みどりとイノベーションの融合拠点」"うめきた2期の開業
- 大阪・関西万博開催(夢洲)、大規模アリーナの開業(吹田)、課題先進 ニュータウンの存在(泉北・千里)
- 北大阪健康医療都市(吹田·摂津)、未来医療国際拠点(中之島)形成
- 大阪府大・大阪市立大統合キャンパスが大阪市中心部に開学

新規

┃飯 ライフサイエンス拠点を起点としたスタートアップの育成強化 ┃国 うめきた・万博などを活用した実証実験フィールドの構築



📵 近接する大学が保有するシーズ集約による知財活用の促進 新規



補完し

弱み (Weaknesses)

- 世界のスタートアップ・ベンチャーキャピタル・大企業に対するプレゼンスの低さ
- 首都圏に対するベンチャーキャピタルの充実度の劣後
- 世界を牽引するグローバル企業や、世界トップレベルの技術シーズを持つ大学との ネットワークの脆弱さ
- スタートアップをスケールさせる経営幹部候補(CXO)の少なさ
 - 国内外VCと大阪発のスタートアップの交流機会の確保
- 既存強化 既存強化
- 📵 国際イベントの開催・誘致による海外認知度の向上
- 新規 ■ 海外メディア連携を含むスタートアップ情報発信機能の整備
- 📵 グローバル企業、世界トップレベル大学との連携施策の構築
 - 新規

- 若年層の起業家人材の首都圏への流出
- 労働人口減少、大企業本社機能の移転などに伴う人材の確保、特に経営人材 の確保の難化
- 技術力を有する中小企業を中心としたものづくり企業の廃業の増加と、それに伴う 技能伝承の断絶
- 技術シーズの流出、ビジネスシーズの他都市での事業化、海外企業の進出
 - 🔯 ベンチャー型事業承継、アトツギベンチャーの支援強化



|

励 外国人起業家の育成・支援強化



🔞 スタートアップ就職のサポートの強化(特に経営人材)



機会(Opportunities)

脅威 (Threats)

1 . <u>エコシステム形成の目標·KPI</u> 2/2

大阪の取組と京阪神連携の効果、グローバル拠点だからこそできる取組を合わせ、世界に伍する拠点を構築する

実施施策

阪 大阪で取り組む予定

→ 大学・研究機関と連携した

シーズを活用した起業の促進

- 関 京阪神連携で取り組む予定
- 国 国・京阪神連携で取り組む予定
 - 阪 スタートアップ就職 のサポートの強化 (特に経営人材)

厨 ライフサイエンス拠点を起点とした

スタートアップの育成強化

大学

シーズの集積地

阪 スタートアップコミュニティと

多彩な人材のマッチング

優秀な学生、大企業人材等 シード人材が豊富

高度外国人人材

多彩な人材

大阪

スタートアップ・

 大企業とスタートアップの連携・ 協業機会の拡大

ベンチャー型事業承継、
 アトツギベンチャーの支援強化

あのづくり企業との連携によるアジャイル開発基盤の構築

産業界

多彩な産業

金融機関

ものづくり基盤 ライフサイエンスの強み 大企業の集積

- 中之島未来医療(2024年)
- うめきた2期(2024年)
- 万博(2025年)
- スマートシティ・スーパーシティへの対応

官公庁

海外での知名度 起業環境の充実

関 起業家人材ネットワークの拡充、 支援の仕組みの強化 はみやすい街の変を変える。

インバウンドの盛り上がり 産官学の一体感

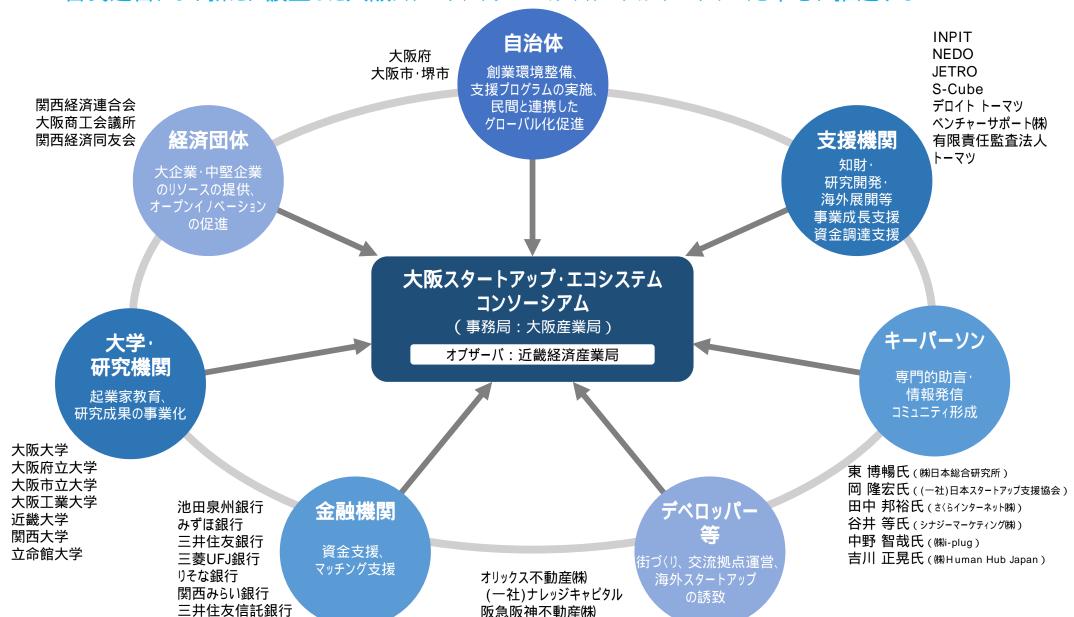
- 国
- 海外メディア連携を含むスタート アップ情報発信機能の整備
- 国 国際イベントの開催・誘致による海外認知度の向上
- 国 近接する大学が保有するシーズ 集約による知財活用の促進

	項目	内容	大阪の目標 (2020~2024年)
	スタートアップ の創出	スタートアップ創出件数	300社
		うち大学発スタートアップ 輩出件数	100社
	スタートアップ の成長	ユニコーン輩出件数	3 社
		5 億円以上調達の スタートアップ件数	75社以上
	起業家の聖地	外国人起業家の誘致件数	20社 (スタートアップビザ活用数:30者)
	スタートアップ の活躍	万博を契機に活躍する スタートアップ輩出件数	50社

大阪型ユニコーン創出

2 . エコシステム形成主体の構成組織と役割分担 1/2

官民連合により新たに設立した大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムを中心に推進する



2 . エコシステム形成主体の構成組織と役割分担 2/2

うめきたがハブとなり、大阪の各エリアがスタートアップ支援で有する強みと産学官連携ネットワークを最大限に活かした拠点をめざす

【ライフサイエンス】 北部エリア

大阪大学、彩都、健都などライフサイエンス産業基盤

【大阪関西万博】 西部エリア

万博、スマートシティ・ スーパーシティを活用した 実証フィールド

【集結·情報発信】

> うめきたエリア 人、シーズ、課題等のイノベーションの源泉が集結 核となるOIHはじめ、多数の交流拠点、大学が存在

【ものづくり】 東部エリア

ものづくり産業基盤による アジャイル開発、 府市統合新大学

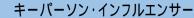
【外国人起業家、インキュベーション】 南部エリア

グレーターミナミ (起業家の聖地)構想 堺市インキュベーション (S-Cube)

3 . エコシステムの顔となるリーダー

大阪に対する情熱を持ち、グローバルに対しても発信力のあるリーダーを配置する

大阪スタートアップ・エコシステム コンソーシアム (代表:立野 純三 氏)











谷井 等氏、岡 隆宏氏、東 博暢氏、田中 邦裕氏

うめきた2期 推進協議会

大学· 研究機関

連携

連携

海外 アクセラレーター (Startupbootcamp)





株式会社Human Hub Japan 代表 吉川 正晃 氏

- 組織横断型・問題解決型プロジェクトの企画・運営、新規事業立ち上げ、企業経営を経験。
- 大阪市経済戦略局理事として、大阪イノベーションハブ (OIH)を立上げ。「HackOsaka」を展開。退職後も肩書・ 組織・国籍を超えた共創環境づくりをテーマとして活動中。 関西 にスタートアップエコシステムの構築をめざす、
- 阪急阪神不動産㈱、(公財)都市活力研究所、(一社) 日本スタートアップ支援協会、テクノロジースタートアップ等の顧問、NPO法人生態会理事
- Forbes(Japan)の「88人のローカルイノベータ」(2017年)の一人に選出。中小企業診断士・全国通訳案内士
- J-Startup推薦人



株式会社i-plug 代表取締役CEO 中野 智哉 氏

- 株式会社インテリジェンス (現:パーソルキャリア)にて求 人広告の法人営業、人材採用・教育の業務全般を経験
- 企業と学生のミスマッチを防ぐダイレクト・リクルーティングツールに着目し、(株)i-plugを設立。運営するオファー型就活支援サイトOfferBoxは学生累計35万人、企業5,300社が利用中。J-Startup認定企業。
- スタートアップコミュニティ「(一社)にしなかバレー」「秀吉会」代表理事、グロービスアントレプレナーズクラブ代表
- (公財)大阪産業局理事
- 大阪商工会議所 人材育成委員会委員
- 近畿経済産業局ベンチャーサポーターズ会議メンバー
- 文部科学省日本人の海外留学促進事業選考会委員



スタートアップ コミュニティ

連携

自治体

連携

経済界

連携

金融機関

連携・デ

デベロッパー

地方自治体の取組

1. 首長の方針

オール大阪でスタートアップ・エコシステム拠点を形成し、世界に伍するスタートアップ拠点都市を構築する



大阪府知事 吉村 洋文

大阪は、世界で存在感を発揮する東西二極の一極として、イノベーションの創出やスタートアップの支援に取り組んできた。

市内を中心に、スタートアップの活動拠点施設や交流施設が立地し、大学による起業家教育や海外アクセラレーションプログラムなどが展開されている。

2025年の大阪・関西万博をはじめ、うめきた2期開発など、国内だけでな〈海外のスタートアップを呼び込むビックプロジェクトも控えている。

大阪のリソースやポテンシャルを最大限に活かしながら、オール大阪でエコシステムを形成し、 世界に冠たるスタートアップ都市・大阪をめざす。



大阪市長 松井 一郎

大阪市は、他都市に先駆け、スタートアップや大学、企業、投資家等が連携したエコシステムの構築、イノベーションの創出を支援し、成果をあげてきた。

革新的な発想で新たなビジネスに挑戦するスタートアップは、経済活性化や社会課題の解決を通じて未来社会をつくる牽引役である。

大阪・関西万博やうめきた2期開発を控え、大阪府、大阪産業局、経済界、大学との一層の連携でエコシステム強化やスタートアップの成長に取り組み、都市や経済に更なる活力を生み出していく。

2 . <u>スタートアップ支援</u> 1/2

総額約11.1億円のスタートアップ関連予算により、スタートアップ支援を強力に推進する

(1)総予算額

令和2年度 総予算額

11.1億円

大阪府

H30年度 277,690千円 R1年度 284,042千円

R2年度 294,986千円(見込み)

【主な取組内容】

・大阪発のロールモデルの輩出を目指し、創業初期及びミドル期の企業に対するアクセラレーションプログラムを実施。

・バイオベンチャー等に対するインキュベーション施設の整備、 入居者支援を実施。

大阪産業局

R1年度 103,050千円 R2年度 112,850千円(見込み)

【主な取組内容】

・ベンチャーの事業成長をめざし、資金調達とプロモーションを 支援。助成金を交付し、ハンズオン支援を実施。

・大企業等からベンチャー企業への人材移動に取り組み、企業の成長加速と、イノベーション人材の育成、定着を促進。

大阪市

H30年度 580,914千円

R1年度 593,241千円

R2年度 590,875千円(見込み)

【主な取組内容】

・国内外から人材・情報・資金を引き付け、イノベーションを創出する好循環の構築をめざしOIHを運営。

・シード、アーリー期のスタートアップに対し、資金調達、大企業連携等のアクセラレーションプログラムを実施。

堺市

H30年度 89,817千円

R1年度 86,477千円

R2年度 112,787千円(見込み)

【主な取組内容】

・中百舌鳥エリアを核として、民間企業等と連携し、スタート アップ創出を支援。

・大阪府立大学と連携し、産学連携による新事業創出や学生を含めた若者の起業を促進。

地方自治体の取組

2. スタートアップ支援 2/2

(2) 主な支援事業

大阪産業創造館 ((公財)大阪産業局 情報提供·個別相談·育成指導等)·大阪産業技術研究所 ((地独)大阪産業技術研究所 技術相談·指導等)

AIDOR**アクセラレーション (大阪市**) (19,527千円) IoTビジネスに特化したビジネス創出プログラム

堺版スタートアップエコシステム構築 (堺市) (112,787千円) 中百舌鳥エリアのスタートアップに対するアクセラレーションプログラム、大阪府立大学との産 学連携による新事業創出など

OIHシードアクセラレーションプログラム(大阪市)

(35,884千円)

ベンチャー初期支援事業 SIO

起業前を対象とする連続講座、アクセラ

(大阪府) (10,224千円)

V C 等からの資金調達をはじめ、大企業とのメンタリング・連携、メディア露出の機会を提供し、事業の加速化を支援

スタートアップビザ (大阪市)

海外ワークショップ (大阪市)

S-Cube (堺市) スタートアップ支援の活動拠点 の運営

創業機運の醸成の取組み (府) (38,691千円)

大学と連携し、大阪のスタートアップとの交流やインターン促進。また商工会議所が取組む創業の促進に対する補助

Mebic **(大阪市)** (94,209千円) クリエイターとスタートアップの連携機会を提供

大阪FUND&FUN事業

(大阪産業局) (15,000千円) 創業ベンチャーに対する資金、プロモーション

支援およびハンズオン支援

レーションプログラム

大阪起業家グローイングアップ

事業 (大阪府) (24,688千円) ビジネスブランコンテストを中心に発掘からハンズオン支援までの一環した支援を実施。

【新規】 スタートアップ活躍促進事業 (大阪府)(12,841千円) 国が誘致する海外トップアクセラレーターの支援の効果を、幅広く大阪のスタートアップ等に

国か誘致する海外トゥノアクセフレーターの支援の効果を、幅広く大阪のスタートアッ 行き渡らせ、グローバル化を促進

> 先端産業国際交流促進(大阪府)(11,551千円) JETROと連携して、海外総合見本市への出展支援、海外スタート

JETROと連携して、海外総合見本市への出展支援、海外スター アップの招聘、大阪への投資の促進

大阪トップランナー育成事業(大阪市)

成

長

(70,363千円)

医療・介護・健康等の分野で、新たな需要の創出が 期待できる製品・サービスを発掘・認定。 コーディネー ターが伴走支援

スタートアップ発展支援事業

RISING! (府)(6,915千円) 大阪発のロールモデル輩出をめざし、ミドル期 を対象とするアクセラレーションプログラム

ベンチャー企業成長プロジェクト

Booming! (大阪府)

(現:民間自主事業)

上場をめざす企業に対するアクセラレーションブログラム。 大阪ゆかりの上場経験者がメンタリング V-DRIVE (大阪市) (24,960千円) イノベーション人材の育成、流動化促進のため大企業人材をスタートアップに派遣

イノベーション創出支援補助金(大阪市)

(13,000千円)

大学が自6の有望な研究・技術シーズを活用して民間企業と 実施する共同研究等について、研究開発費の一部を補助

実証実験支援 (大阪府·大阪市·大阪商工会議所)

グローバルイノベーション創出支援事業 (大阪市) (144,613千円)

大阪イノベーションハブ(OIH)の運営、Get in the Ring等の国際ビッチイベント、大企業とのオープンイノベーションなど、プロジェクト創出やネットワーク構築等の支援。世界から人材・資金・情報を引き込む

イノベーション拠点立地促進助成金(大阪市)

ベンチャー企業等の成長促進を支援する拠点を設ける場合に経費の一部を助成

健康・医療関連産業の世界的クラスター形成(大阪府)(101,735千円)

産学官連携のもと、彩都(創薬等)、健都(健康・医療)、中之島(未来医療)における産業クラスター形成を推進

等 共創、イノベーション創出に向けた取り組み多数

創業前

シード期

アーリー期

ミドル期

レイター期

3. スタートアップ支援組織

大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムを牽引する気鋭の若手人材を中心に支援職員を配置する

(1)担当部局名 担当者数

大阪府

商工労働部 中小企業支援室 商業・サービス産業課(11名)

大阪市

大阪市経済戦略局立地交流推進部 イノベーション担当(7名) 同事業創出担当(5名)

大阪産業局

大阪イノベーションハブ (OIH) 在籍 (24名)

(2)支援の顔となる職員

大阪府

石橋 厚利 関連業務経験年数 8年

(U-40) 是洞 公紀 関連業務経験年数 5年 大植 勇輝

関連業務経験年数 3年

大阪市

田原 裕之 関連業務経験年数10年

(U-40)

大山 勝 関連業務経験年数 5 年 西 和男 関連業務経験年数 1 年 金﨑 大輔 関連業務経験年数 1 年 吉岡 香織 関連業務経験年数 1 年

大阪産業局

長川 勝勇 関連業務経験年数 16年

(U-40) 中村 奈依 関連業務経験年数 7年11ヶ月 津久井 柚花 関連業務経験年数 2年 2ヶ月

地方自治体の取組

4 . 民間組織との連携 1/2

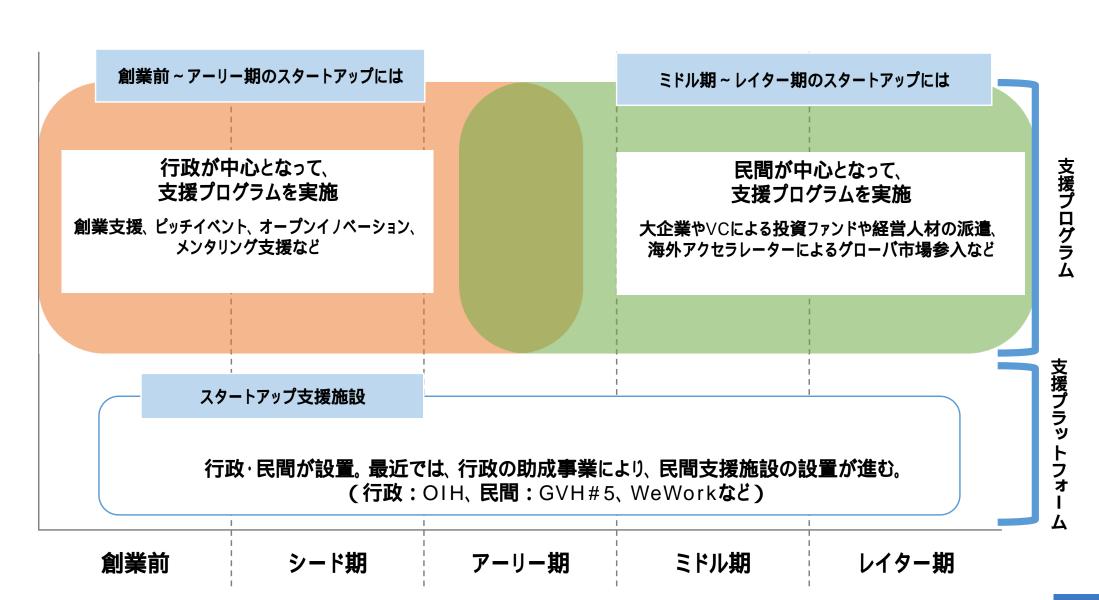
民間組織と密接な連携を図り、民間の知見、リソースをエコシステムに最大限活用している

テーマ	内容	自治体
スタートアップの	大阪起業家グローイングアップ事業ビジネスプランコンテストの出場者は、民間を中心に創業支援に取組む91機関による推薦制をとる。	大阪府
発掘 	大阪府スタートアップ発展支援事業RISING!の採択者は、民間証券会社やVCなど9機関による推薦制をとる。	大阪府
民間/ウハウの 活用	大阪府スタートアップ発展支援事業RISING!において、民間証券会社やVCなど20社以上が「コンシェルジュ」としてスタートアップを支援。	大阪府
	スタートアップ・イニシャルプログラムOSAKA (SIO)では㈱アドライト、RISING!では(一社)EO OSAKAが運営を受託。また各事業のスタートアップの審査などでは、㈱ゼロワンブースターなど知見を有する審査員を起用。	大阪府
	阪急阪神不動産(株)と「ベンチャーエコシステム構築に関する連携協定」を交わし海外アクセラレーションプログラムを招聘。	大阪府
	OIHシードアクセラレーションプログラム (OSAP) を有限責任監査法人トーマッに委託し実施。	大阪市
	OIH関連事業を大阪府市の中小企業支援施策・事業の拠点である(公財)大阪産業局に委託。大阪産業局はスタートアップ支援経験の豊富な人材により運営。	大阪市
	令和元年度から大阪商工会議所との協力関係を強化。11月には世界8ヶ国17社のスタートアップ企業を招いてのピッチや個別商 談会をグランフロント大阪で実施するほか、12月には米国スタンフォード大学より講師を招いての起業家向けブートキャンプを大阪イノ ベーションハブで開催。関西経済連合会や関西経済同友会に加えて、新経済連盟とも事業実施で協力体制にある。	大阪産業局
	OIHでは、モーニングピッチをはじめとする起業家やスタートアップ向けイベントを年間280回以上開催し、そのうち55%は民間組織との 共催で実施。 関西経済連合会、大阪商工会議所、 関西経済同友会など経済団体とも連携した取組を実施。	大阪市
民間人材の登用	スタートアップ・イニシャルプログラムOSAKA(SIO)では民間専門メンターが、RISING!では上場起業家メンターが伴走支援。	大阪府
	大阪産業局理事に三井物産㈱の北川専務執行役員(元中小企業庁長官)、J-Startup認定企業である㈱i-plug中野社長、 女性起業家の㈱プロアシスト生駒社長、スタートアップ支援に取り組む中西金属工業㈱中西社長を登用するなど民間人材を積極的 に登用。スタートアップ向けアンカー施設である大阪イノベーションハブ(OIH)で勤務する人材は基本的に民間出身者を採用しており、 社会人経験者が業務に従事。	大阪産業局
	OIHシードアクセラレーションプログラム (OSAP) では、大企業メンター・VCメンターなど、多数の民間人材が支援。	大阪市
民間資金の活用	VCや銀行、信金等多くの金融機関と創業・ベンチャー支援に関する連携協定を締結。連携協定をもとに「おおさか社会課題解決ファンド」や「社会課題解決ビジネス成長ファンド」を立ち上げ、スタートアップへのリスクマネー供給を支援。	大阪府
	メガバンク・デベロッパー等事業会社などと共同出資で、独立系VC「ハックベンチャーズ」を組成。	大阪市

地方自治体の取組

4. 民間組織との連携 2/2

行政と民間が連携し切れ目のない支援を実施。大阪産業局がワンストップでスタートアップを適切な支援につなぐ



5 . <u>グローバル化への対応</u> 1/2

グローバルイベントをはじめスタートアップVISA、外国人交流拠点の取組などにより対応する

テーマ	内容	自治体
グローバルイベント による情報発信	国内外の起業家・投資家や海外からのスピーカーが参加する全編英語の国際イノベーション会議「Hack Osaka」を毎年開催。大阪で生まれたプロジェクトや世界の潮流を世界に発信し、若者を中心とした観客のマインドを醸成。会議翌日には、海外スタートアップ×関西の大企業の商談会も開催。また、全編英語の国際ピッチイベント「Get in the Ring」や「Startup World Cup」の日本予選を開催し、国内起業家の海外展開を強力にサポート。	大阪市
	大阪商工会議所と連携し、「Global Innovation Forum」を開催し、最先端技術を有するスタートアップと在阪企業とのビジネスマッチングを実施。	大阪府/大阪市
	国際ピッチイベント「Get in the Ring」や「Startup World Cup」の日本予選を開催、国内起業家の海外進出を支援。	大阪市
	市が実施する「OIHシードアクセラレーションプログラム(OSAP)」を卒業したスタートアップ(5社)の海外展開を支援。	大阪市
	エンタープライズシンガポールとシンガポールで活躍するスタートアップを招き、同国最大級のイノベーションイベントである「SFF×SWITCH2019」のプロモーションイベントと在阪スタートアップの出展支援を実施。	大阪府
国内スタートアップの海外進出支援	OIHでは、年に一度、新規事業の担い手となる起業家や学生を対象にした海外ワークショップを開催。(これまでにシリコンバレー、深セン、シンガポールなどで開催)。また、タイ国家イノベーション庁との提携により、スタートアップのアジア市場での具体的なビジネス拡大支援などを計画。	大阪市
	国際事業部では、アジア 5 ヶ国に大阪ビジネスサポートデスクを設置し、F/S調査や同行支援を行っているほか、上海事務所には駐在員を派遣し、同様のサービスを提供。このほかジェトロ・シンガポール事務所に研修員を派遣し、スタートアップ企業のアジアにおけるビジネス展開で側面支援も実施。	大阪産業局
海外スタートアップ の誘致	府が連携協定を締結している阪急阪神不動産を中心とした7社が、英国で欧州最大級のアクセラレーションプログラムを行っている Rainmaking Innovation LTDを招聘し、「Startupbootcamp Scale Osaka」を始動。スマートシティをテーマに世界中からスタートアップを選抜し、日本市場等での成長を促進。	大阪府/大阪市
海外ネットワーク	海外のイノベーション機関とMOUを締結、スタートアップ相互支援を実施。(締結先:仏フレンチテック、中国深セン Leaguer X、米国シカゴ 1871、シンガポール ACE(調整中)等)。また、大使館・総領事館など海外政府機関やスタートアップ支援機関と共催で年数回ピッチイベントや商談会を実施。海外の大学・政府機関等の視察等をOIHで年間約50回受入れ(シンガポール政府上級国務大臣、スイス経済大臣、米ネバダ州政府、豪メルボルン大学、独ハンブルク市、中国国家発展改革委員会など)。	大阪市
外国人起業家の 育成	平成31年3月に市がスタートアップVISAの認定を受け、5月に大阪産業創造館に外国人起業支援窓口を設置、起業準備活動計画の申請受付を開始(申請受付件数:3件【令和元年12月末現在】)。 府、市、産業局が連携し、外国人材交流・トレーニング拠点(YOLO BASE等)において、外国人留学生等を対象に、スタートアップVISAの周知促進を図り、さらなる外国人起業家の育成支援を実施。	大阪府/大阪市 大阪産業局

地方自治体の取組

5. グローバル化への対応 2/2

OSAPアラムナイ

- 大阪市が実施する「OIHシードアクセラレーションプログラム(OSAP)」を卒業したスタートアップ(5社)の海外展開を支援。
- 2019年11月にシンガポールを訪問。現地企業や大学等とのディスカッションを通して商談や事業連携の機会を創出。
- 現地のニーズに合った卒業生スタートアップや訪問先の選定などにより、大きな成果につなげる。
- こうした経験を、今後も日本のスタートアップの海外進出、グローバル化に活かす。



国際イノベーション会議「Hack Osaka 2020」

- 全編英語で世界のイノベーションの潮流・トレンドや大 阪発のイノベーションの成果を世界に発信。
- 世界で活躍する起業家によるスピーチやパネルディスカッション、世界各国の起業家が参加するピッチコンテストHack Award、投資家面談、商談会等を実施。



Startup World Cup

- 世界最大級のグローバルピッチコンテスト。大阪では 2020年2月に予選を初開催。日本全国から参加者 が大阪に集結。
- 優勝者は米国シリコンバレーで開催される世界大会 へ派遣。優勝投資賞金は約1億円。



Get in the Ring

- オランダ発祥のグローバルピッチコンテストの日本予選をOIHが共催。全編英語。
- ボクシングリングに見立てた会場で、スライド無しのプレゼンテーションのバトルを実施。
- 優勝者は世界各地で開催される決勝戦へ派遣。



シンガポール SFF×SWITCH 出展補助

- フィンテック及びディープテック分野におけるシンガポール国内最大級のイノベーションイベント「SFF×SWITCH」への出展費用を全額補助。
- 2019年はJERTOと連携し、J-Startupとともにジャパンパビリオンを設け、 大阪スタートアップをPR。
- 出展効果を最大化するため、事前のピッチトレーニング、ジャパンパビリオンにおけるピッチ会、オープンステージにおけるトークセッション等を実施。
- スタートアップ 1 社がシンガポール進出を決定。

グローバル・イノベーション・フォーラム2019

- 大阪商工会議所、大阪外国企業誘致センター(O-BIC)主催により開催。
- アメリカ、イギリス、イスラエル、シンガポール、日本、中国、ドイツ、フランスから、AI/IoT、デジタルヘルス、VR、画像認識、自動運転などの最先端技術を有し日本企業とのパートナーシップを望むスタートアップ企業が来阪。
- パイロットモデルでのデモンストレーション、ピッチ、個別商談会を実施。

大阪イノベーションハブ(OIH)の海外ネットワーク

• 海外の20の国や都市の政府系、民間の支援機関とスタートアップ 支援のネットワークを構築。視察や意見交換にとどまらず、海外 からスタートアップを招聘してのピッチイベント、大阪の大企業との マッチング会、海外のピッチコンテストや国際展示会への大阪の スタートアップの送り込みなど、双方向の交流を推進。



大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムの情報発信

• スタートアップの成長を加速させる「イノベーション都市 大阪」であることを国内外に発信するため、大阪の魅力やビジネス環境等を紹介するホームページを英語と 日本語で作成。

URL https://www.innovationosaka.jp/ja/startup-ecosystem/



Why Osaka Is The Best Place To Star

we many family the definition of the could be the most a function in the wife appear. The officer of the family contact or going that it advant is different owns, agreed all most of the could be not apply to passe it is said for the providing the could be not apply to go it is providing the function of the could be not become any of all fined a long in the country.

there are trip you are make through little pains to regime and if her are

6. 他の自治体等との連携 (都道府県と市区町村の連携、連携都市など)

大阪府内、京阪神内を中心に、国内外の自治体と密接に連携

大阪府内の連携

(1) 大阪産業局を中心にオール大阪の推進体制を構築

スタートアップ支援を目的の一つとして、大阪府・大阪市が法人統合により設立した「公益財団法人大阪産業局」(2019年4月設立)を中心にオール大阪の推進体制を構築。 大阪府、大阪市、堺市とともに、大阪産業局が事務局となって行政・経済団体による「大阪スタートアップ・エコシステム推進会議」を設置、グローバルなスタートアップ・エコシステムの構築に向け一体的に取り組んでいる。さらに、近畿経済産業局の「関西ベンチャーサポーターズ会議」とも連携して取組を実施している。

(2)大阪府・市の連携

大阪府・市は、シード期からアーリー、ミドル、レイター期に至る一気通貫した切れ目のないスタートアップ支援プログラムを連携して実施している。

(3) 堺市との連携

大阪府は、大阪南部で起業家、支援機関が集う中百舌鳥エリアを推進する堺市と、施策間連携やネットワークの共有を行うことで、全国区、グローバルに活躍する企業の輩出に取り 組んでいる。

大阪産業局も、堺市と先導的ヘルスケアサービス創出支援業務を実施。健康寿命延伸産業創出に向け、堺市内で新たにサービス提供が見込まれる分野で支援を行うとともに、関連するサービスを提供する先進的な取組の企業・団体に新たな補助制度の運用を行う。

京阪神連携

大阪府は、関西広域連合(7府県4政令市)の、広域産業振興局の事務局を担当し、大阪・京都・神戸等が強みを持つヘルスケアやライフサイエンスの分野において、スタートアップを 支援する大学や企業が集積し、医療・バイオ系ベンチャーの創出につながっている。また、関西広域連合においては、今後万博に向けて、新事業の創造とその実証の場を関西各地で展開し、 それらをショーケースとして国内外に広〈発信する取り組みを行う予定。

大阪市は、平成30年度のHack Osaka 2019翌日の商談会では、オール関西の発想で、JETRO大阪などの支援のもと、京都市や神戸市と共同で商談会や海外投資家対応を実施。 OIHでの取組でも、イベント共催やスタートアップの交流等を実施。また、京都市との人事交流では、大阪市イノベーション担当部署で11年間、京都市職員を受け入れている。

【京阪神エコシステム実務者会議(仮称)】

本事業への応募にあたり、京阪神の6府県市(大阪府・市、京都府・市、兵庫県、神戸市)の実務担当者で情報共有など準備を進めてきたが、新たに標記会議を設置し、各地域・ 京阪神のエコシステムの強化のため、引き続き協議・検討等を進めていく。

(会議での取組内容)

- 各地域のスタートアップ支援策についての情報共有 ・ 各地域のキーパーソン等からのヒアリング ・効果的な連携策の検討
- スタートアップへ京阪神の最適な支援プログラムを選定・提供する方策の検討 ・国の支援の効果的な活用策の検討 等

7. 国の施策との連携

(特区、地方創生交付金事業など)

大阪における様々な施策と国の施策を連携させ、グローバル拠点だからこそ創出可能な効果を発揮する

2025大阪·関西万博

• 万博は社会を変える新しいサービスやアイデアを生み出すスタートアップの活躍の場。2025大阪・関西万博の成功に向け、京阪神が連携して国内外のスタートアップの支援・成長に 取り組むことにしている。

地方創生推進交付金(加速化交付金含む)

大阪府

- 〇大阪産業成長促進事業 (H28:99,910千円、H29:50,632千円、H30:25,278千円)
 - 成長志向創業者支援事業(H28~H30)、医療機器創出環境整備事業(H28~H29)、おおさかUIJターン促進事業(H28~H30)として実施
- 成長志向創業者支援事業

株式の新規上場などをめざす成長志向のスタートアップに対して積極的に支援し、その成長を後押しするとともに、成功した起業家が後輩の起業家を支援するエコシステムが大阪に 定着するきっかけづくりを目的とした「Booming!」を実施。

支援企業62社のうち、(株)スマレジが東証マザーズに新規上場(H31)、夢見る(株)が事業売却(R1)、(株)リグアが上場承認、7社が上場準備宣言等。

○大阪版プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (H29:64,479千円、H30:40,931千円)

大阪市

〇グローバルイノベーション創出支援事業 (H28:100,950千円、H29:83,928千円、H30:91,541千円、H31:96,601千円)

スタートアップ、既存企業、大学、VC等の出会いと連携を促進し、新しいビジネスやイノベーションが次々と生まれる好循環(イノベーション・エコシステム)を大阪・関西に構築することをめざし、グランフロント大阪のナレッジキャピタル内に設置した「大阪イノベーションハブ(OIH)」で、平成28年度から交付金を活用して様々な事業を実施。この取組を通じて都市や経済の活性化を図っている。

特区

○国家戦略特区(大阪府内全域)

- 健康・医療分野における国際的イノベーション拠点の形成を通じ、再生医療をはじめとする先端的な医薬品・医療機器等の研究開発・事業化を推進するとともに、チャレンジングな人 材の集まるビジネス拠点を整えた国際都市を形成する。
- 医療分野においては特に注力し、「特区医療機器薬事戦略相談」、「革新的な医薬品の開発迅速化」、「保険外併用医療の特例」で認定全国第一号。
- ○関西イノベーション国際戦略総合特区(府内では、けいはんな学研都市地区、北大阪地区、大阪駅周辺地区、夢洲・咲洲地区、阪神港地区、関西国際空港地区)
- 国際競争力向上のための"イノベーションプラットフォーム"の構築(実用化·市場づくりを目指したイノベーションを次々に創出する仕組み)に府県域を超えたオール関西で取り組む。
- 指定区域である大阪駅周辺地区では、知的創造拠点「ナレッジキャピタル」を中心にライフ分野・グリーン分野等の新産業の創出と成長産業の集積に向け活動中。
- なお、ライフサイエンス分野・新エネルギー分野の事業で府内対象地域へ進出する企業に向けては、独自の税制措置(大阪府成長特区税制)を実施。

8. スタートアップ調達 (トライアル発注制度など)

大阪府市でスタートアップ調達を実施、今後も拡大をめざす

公共調達

大阪府

- 新規性の高い優れた新商品の生産または新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図る企業を支援するため、府が新商品等の調達に努める「大阪府新商品の生産等による新事業分野開拓事業者認定事業」を平成19年度から実施中。
- 府の機関は、認定を受けた当該新商品を随意契約で調達する仕組みを設けた。
- 平成27年度には、既にJ-Startupに選出されている㈱DG TAKANO(東大阪市)の洗浄力にも優れた超節水ノズル「バブル90」や、大阪府ベンチャー企業成長プロジェクト「Booming!」で支援したコドモエナジー㈱(大阪市旭区)の消灯時に無電力で発光する蓄光式避難誘導標識「ルナウェアサイン」を認定。
- この2商品を含め、現在認定期間中の商品は27商品。

大阪市

- 新規性があり、優れた特性を有する新商品の生産に取り組む中小企業を支援するため、大阪市が定める基準を満たす新商品を生産する事業者を認定し、本市各局が随意契約での調達に努め、販路開拓支援を行う「ベンチャー調達制度」を平成20年度から実施。
- 認定は毎年行われ、平成26~30年度の5年間では18製品が認定され、本市各局で調達されている。
- 認定された製品には、本市の支援事業(大阪トップランナー育成事業)の対象のベンチャー企業が開発した製品(平成26年度認定㈱アースクリエイト「Stone-Sheet手提げ袋:燃焼時の大幅なCO2削減ができる環境にやさしい樹脂複合製品」)もある。

. 民間組織の取組

. 民間組織の取組

1. <u>地域で活動するVC、アクセラレーターの取組</u> 1/2

様々な組織がスタートアップのステージ、領域、ビジネスモデル、等に応じた資金供給を実施

VC・ファンド

社会課題 解決ファンド

【おおさか社会課題解決ファンド】

大阪地域で社会課題の解決に取り組む企業の資本と経営の強化を支援することを目的として、 大阪信用金庫とフューチャーベンチャーキャピタル(FVC)が出資し設立したファンド 【社会課題解決ビジネス成長ファンド】

大阪府内の幅広い分野の行政 課題や社会課題の解決に繋がる ビジネスの成長を支援することを目 的として、燦キャピタルマネージメン ト株式会社、ANEW Holdings が出資したファンド。

【イノベーションファンド25】

2025年大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」や「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象として、池田泉州銀行、ロート製薬、岩谷産業、大阪信用保証協会等が出資するファンド

金融系VC

池田泉州キャピタル みずほキャピタル

りそなキャピタル

三菱UFJキャピタル SMBCキャピタル

大学系VC

【大阪大学ベンチャーキャピタル】

日本のイノベーションや経済成長に貢献することが 期待される、大阪大学の研究成果を活用したス タートアップ・アーリーステージ案件を中心に投資。そ の他独立系VC、CVCが多数活動

エンジェルファンド

【JSSAエンジェルファンド】"起業家が起業家を育てる"という信念のもと、シードアーリーステージを中心にミドルレイターステージまでの投資を行う、一般社団法人日本スタートアップ支援協会、フュー

つ、一般在団法人日本スタートアップ支援協会、ブュー チャーベンチャーキャピタル株式会社によるエンゼルファンド

独立系VC、CVC

大阪府内外の独立系VC、CVCが多数活躍

既存の多様な資金供給ルートに加え、 今後は首都圏、海外との接点を強化し、外部資金供給ルートの確立を目指す

民間組織の取組

1 . <u>地域で活動するVC、アクセラレーターの取組</u> 2/2

多様な層、様々な強みを特色として持った支援プログラムが存在

アクセラレーター、アクセラレーションプログラム

特徴

テクノロジー

うめきた2期みどりとイノベーション の融合拠点形成推進協議会



• 大阪テックプランター

大阪テックプランター 大阪をヘルスケア、ものづくりの国 際ハブにすることを目指す。関西圏の技術シーズの発 掘・育成に加え、アジア圏のスタートアップを呼込む。

うめきた地区を、最先端テクノロジーと出会い、技術で世の中に貢献する ベンチャーを創りたい人々が集まる場所にする構想を実現するための人 材育成プログラム。



大阪府(㈱アドライト)

まだ世の中にない新たな価値を自ら創出し、急速な規模拡大を志向し、大 阪からグローバルを舞台に市場を求める、スタートアップ及び起業前後の方を 対象として、事業立上げ時に必要とされる専門的な支援プログラム



• 大阪府 (一社EO Osaka)

大阪でのベンチャーエコシステム定着と将来の大阪発のロールモデルとなる企業 の発掘、成長支援を目的とする、「大阪府スタートアップ発展支援プロジェクト



• 大阪府 (一社EO Osaka)



大阪市(トーマツベンチャー

大阪にゆかりのある上場経験者等が1対1で支援先企業をメンタリングし、上 場等に向けたベンチャー企業の成長を支援するアクセラレーションプログラム

資金調達額:55億円以上、大企業との連携:66 例、メディアへの掲載: 293 回を達成した大阪市主催の主にシード期ベンチャーを対象としたアクセラ レーションプログラム

首都圏

·株式会社三井住友銀行

事業開発コンソーシアム・III(トリプルアイ)が主催する日本最大級のアクセラレーションプログラ ム「未来」において、大阪で最終審査会を開催。

一般社団法人 日本スタートアップ支援協会

スタートアップのEXITの支援を目的としたコミュニティ。スタートアップ、大企業、中堅・中小企業、 支援機関等が参加し定期的な交流会、勉強会を開催。50名以上のメンターが参画

多様な

層

中小企業

アトリチ U34

• 一般社団法人ペン チャー型事業承継

若手経営者が家業の経営資源を活用した新規事業の 開発を目的に新たな事業創造にチャレンジしていく「ベン チャー型事業承継

形成基盤

• 一般社団法人ナレッジキャピタル

スタートアップのための「新しい学びの場とプログラム」の提供 KNOWLEDGECAPITAL SPRING X

- 大阪商工会議所
- 大阪工業大学

大阪商工会議所と大阪工業大学が立ち上げた、オーブンイノベーション拠点。大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、学生と いった多様な主体が、異業種交流を通して実社会の課題に挑み、ビジネスを創出する活動を展開。

- デロイト トーマツ ベン チャーサポート株式会社 ・ 大阪イノベーションハブ
- 大阪市



ベンチャー企業が大企業・VC・メディア等に向けビッチを行うプログラム。2013年より開始し、これまで約130回を開催。

海外リソース 誘因

> Rainmaking Innovation Japan 合同会社

女性

世界の有望なスタートアップを選抜し、日本市場等での成長を促進する 欧州最大級の事業開発促進プログラム



女性起業家応援プロジェクト。成長志向の女性起業家を対象 とした継続的なサポートのあるビジネスプラン発表会&交流会

関西大学

起業を志す人をカジュアルにコーディネーターや十業がアドバイス。

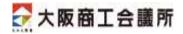
民間組織の取組

2 . スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組 1/2

経済界の取組み



- アジア 日本におけるビジネス創出、活性化 に向けABCプラットフォームを実施
- うめきた2期のイノベーション創出機能構築



- グローバル・イノベーション・フォーラム、MEDTECH CONNECT OSAKA等を通じたグローバル支援
- 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」運営



- 同友会会員と若手経営者の関係構築を 促す関西ブリッジフォーラムを実施
- 関西ベンチャーフレンドリー宣言(55 社)、同宣言を活用したリバースピッチを 実施

オープンイノベーション等の取組み

- ・インフラ、製造業、製薬業、食品、素材、商社、メディア、金融など多様な業種の企業が オープンイノベーションや インキュベーション施設の開設などでスタートアップを支援
- ·OSAP等官民のアクセラレーションプログラムに大企業メンターが参画し、スタートアップとの協業を促進
- ·OIHとオープンイノベーション創出プログラム「イノベーションエクスチェンジ」を共催(全25回開催)
- ・多〈のスタートアップ×大企業・中堅企業との共同事業開発等の事例が存在

大阪府は大企業数の全国比較で2位であり、京阪神には約1,500社、 大阪府だけでも1000社を超える大企業が所在している。

民間組織の取組

3 . エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組 1/2

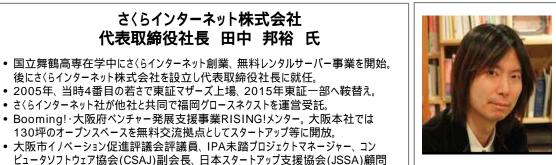
大阪を起点に様々なキーパーソン・インフルエンサーが取組を推進している

株式会社Human Hub Japan 代表 吉川 正晃 氏 (再掲)



シナジーマーケティング株式会社 取締役会長 谷井 等 氏

- 日本電信電話株式会社(NTT)を経て、合資会社DNSを設立。同社を売却し、 株式会社インフォキャストを設立。
- 同年、インデックスデジタル株式会社を設立、シナジーマーケティング株式会社を設立し、クラウド型CRMシステムの国内シェアNo.1に導く。
- 2007年大阪証券取引所ヘラクレス(現JASDAQ)に上場、2014年ヤフー株式会社にTOBに賛同する形で売却。
- 2019年ヤフー株式会社より買い戻し、取締役会長に就任。
- (一社) Eo Osaka発起人・代表理事、大阪府スタートアップ支援事業「Booming!」、「RISING!」総合プロデューサー、エンジェル投資家



株式会社i-plug 代表取締役社長 中野 智哉 氏 (再掲)

一般社団法人日本スタートアップ支援協会 代表理事 岡 隆宏 氏 ・ 学生時代からレンタルレコード事業、玩具雑貨卸事業、家庭用ゲーム代

- 学生時代からレンタルレコード事業、玩具雑貨卸事業、家庭用ゲーム代理店事業、コスメ事業など、様々な事業に手掛ける。
- (株夢展望を設立。数多〈の事業転換を経験したのち、2013年、東証マザーズ上場。
- 2016年一般社団法人日本スタートアップ支援協会を設立し、起業家が 最短でEXITできるようにIPOやM&Aを目標としたスタートアップ支援を行う。
- 2019年5月に上場企業の経営者20名以上から出資を受けたエンジェルファンドを組成。
- J-Startup 推薦委員、大阪府「Booming!」、大阪市「OSAP」、東京
 都「APT Women」メンター就任等の委員、外部活動多数

株式会社日本総合研究所 プリンシパル 東 博暢 氏

- 新卒で日本総合研究所に入社して以来、新産業創造支援、産業インキュベーション、スタートアップ支援、スマートシティ推進支援など、様々なプロジェクトに参画。
- インキュベーションおよびアクセラレーションプログラムIII / 「未来」統括ディレクタ。
- 大阪・関西万博におけるパピリオン等地元出展に関する有識者懇話会委員、J-Startup推薦委員、大阪市イノベーション促進評議会評議員等の委員、外部活動多数。
- ・政府のデータ政策に係ると共に、データ法制の検討に加え、情報 銀行の立上げ、スーパー/スマートシティの推進等を担当。



大阪大学共創機構 産学共創·涉外本部 副本部長·教授 北岡 康夫 氏

のほか、一部上場アイモバイルなど、スタートアップの社外取締役やメンターなどを多く

- 1991年、松下電器産業株式会社(現:パナソニック株式会社)に入社。大阪大学大学院工学研究科にて博士(工学)を取得し、2006年に同大学院工学研究科附属フロンティア研究センター教授に着任。
- 2015年から、全学のベンチャー創生やアントレプレナー人材育成の支援を推進し、大阪大学のイノベーション・エコシステムの構築に向け活動中。



阪急阪神不動産株式会社 開発事業本部 都市マネジメント事業部長 高岸 実良 氏

- 阪急電鉄(株)にてグランフロント大阪など多数の都市再開発プロジェクトに参画。
- 2010年より大阪・梅田地区を拠点に起業支援活動を開始。2014年にはスタートアップ支援施設GVH#5の立ち上げ・運営を開始、その後、CVC組成・投資活動に従事。
- 2019年には、英国より国際的なアクセラレーションプログラム Startupbootcamp Scale Osakaを大阪に誘致。



引き受ける。

. 民間組織の取組

3 . エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組 2/2

大阪は他都市に先駆けスタートアップ育成に取組み、多くのスタートアップコミュニティが存在する

にしなかバレー	西中島近辺(新大阪、西中島、中津)に拠点を置〈スター トアップのコミュニティ
秀吉会	戦国武将の豊臣秀吉のように出世街道を駆け上がり天下 を取るため、スタートアップ経営者らがお互いを鍛え上げる若 手起業家中心のコミュニティ
Entrepreneurs' Organization Osaka	年商\$1MILLIONを越える会社の若手起業家の世界的 ネットワークEOの日本における2つ目のチャプター 年間数百億円の売上、グローバル企業を輩出
OSAP Alumni Meeting	大阪市のアクセラレーションプログラム(OSAP)採択企業のコミュニティ 活動内容 交流会、海外イノベーション先進地への派 遣等
関西ブリッジフォーラム	関西経済同友会の先輩経営者がメンターとして、ベン チャー企業の経営者に助言。経営者間の関係構築を促進。
生態会	「関西で起業のエコシステム = 生態系を作ること」をミッション に設立されたNPO法人 関西10大学と連携。
Kansai Future Summit	スタートアップや大企業をはじめ、産官学のリーダーが集合・ 連携。東京の真似ではない、関西独自の世界都市の作り 方や戦略、関西発ユニコーンの作り方等を議論

コミュニティの活動が人的ネットワークや知の集積となり、有望なスタートアップを輩出する土壌となっている。 官民の活動によりコミュニティ間の連携が進み、共同イベントの開催等で大阪のエコシステムは一層強化される見込み。

. 大学の取組

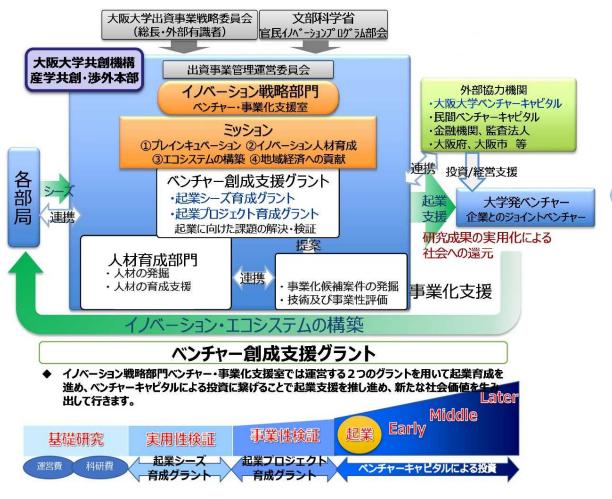
大学の取組

1.地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

大阪大学をはじめ様々な大学が産学連携によりスタートアップ創出・支援の取組を推進している

大阪大学の取組み

大阪大学共創機構が中心となりスタートアップ創出に取組む。これまでの学内の起業家教育、シーズ発掘、資金支援等に留まらず、 外部と連携を強化し、更なるシーズの事業化、スタートアップ創出を行う。



うめきたによるイノ ベーション・エコシステ ム拠点の構築

起業家人材の確保 大学発ベンチャーの事業価 値向上とグローバル化 大企業との連携

「うめきた」での拠点整備

- シーズとVC、人材、支援機関との 接点強化による事業化促進
- Innovators' Meetingによる産 学官の交流促進

事業化人材の発掘、育成

事業構想大学院大学の社会人 学生との連携や、他大学と連携し た起業家教育により、事業化人 材の確保

外部機会の活用

- 大阪テックプランターによる事業化 促進
- うめきた協議会T-CEPによる事業 化人材の育成と事業価値向上
- 海外大学、スタートアップとの連携 によるグローバル展開

大型共同研究の取組み

大阪大学オープンイノベーション機構による海外展開の強化

大阪大学発ベンチャー企業:144社

共同研究講座・部門開設 81、協働研究所設置19

大学の取組

2.地域の大学における起業家教育の取組

大阪には大学が集積しており(55校)、大学発ベンチャー企業数は大阪府が150社と全国で2番目に多い

起業家教育に取組む主な大学

大阪大学

イノベーション人材育成の活動拠点として「Innovators'Club」を運営(会員730名、2019年度新規195名)。座学、実践含め多様な活動を展開。活動プロジェクトは阪大ピッチや外部のプログラム等を通じて事業の精度を高める。

大阪府立大学

高度研究人材、特に博士人材を対象に、アントレプレナー教育を実施。実社会課題解決に向け民間企業や海外大学と連携したプログラムを実施するとともに、Tech-thon

(Technology Marathon)等による 科学技術の社会実装に取組む。

大阪工業大学

梅田のロボティクス&デザインセンター、 大阪商工会議所と共同で運営する Xportを拠点に、顧客・技術・ビジネス の視点でデザイン思考を中心に企業 や海外大学と連携し、多様なプロジェ クトを進め、ビジネス創出を目指す。

大阪市立大学

梅田の健康科学イノベーションセンターを中心に健康科学領域の新たな製品・サービスの創出等に向けヘルスケア分野の起業家創出に取組む。2020年より同分野のアクセラレーションプログラムを開始予定。

大阪府立大学と大阪市立大学が統合し、2022年度から新大学設置。 2025年度を目途に都心メインキャパスを森之宮に整備する予定。

近畿大学

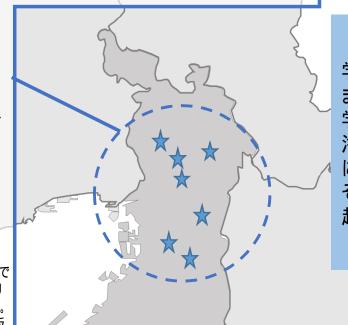
領域横断型の「実学教育」拠点として アカデミックシアターを設置し、様々なプロジェクトを展開。日本一学生起業家 を輩出する大学を目指し、海外大学 で実践される手法や起業支援パートナーと連携した実践型教育を実施し、 法人設立の資金支援も行う。

関西大学

考動を実践する場「梅田キャンパス」では、学生の起業家マインドの醸成やリカレント教育、異業種交流等を実施。キャンパス内にスタートアップカフェ大阪を併設し、関西エリアにおけるオープンな起業支援拠点の基盤を築く。

立命館大学

小・中・高・大・院を通じ社会課題を積極的に解決する社会起業家の養成を目指し、ソニー株式会社と連携したプログラムを実施。企業(コモンズ投信株式会社、株式会社ジャフコ、READYFOR株式会社)と連携した資金調達までを視野に入れた支援プラットフォーム(RIMIX)を開始。



学内の起業家教育、PBLに留まらず、先輩起業家、海外大学との連携、起業の資金支援、海外研修、ネットワーク構築等に取組む。

その他にも府内の多くの大学が起業家教育に取組む。

. 大学の取組

3.大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携 1/2

スタートアップ創出・支援に関して産官学が密接に連携している

大阪府 大学、学生とスタートアップの交流、インターン促進事業 O-VENT

大阪・関西のスタートアップの認知度、理解向上とスタートアップに関心のある学生、若手人材とスタートアップの交流促進(インターン促進)を目的とした取組み。

参加大学:大阪大学、大阪府立大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、

立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学、近畿大学

参加企業:

(株)i-plug akippa(株) クックビズ(株) (株)スマレジ 夢見る(株)

(株)笑美面 リタワークス(株) クジラ(株) SSMotherホールディングス(株) (株)大都

未来電子テクノロジー(株) (株)MJE クロネコキューブ(株) (株)Casie バリューマネジメント(株)

フェンリル(株) (株)PLAN-B (株)ビューティフルスマイル (株)Be&Do 平安伸銅(株) (株)ルカコ

テックミーティング【大阪市・OIH】

大学の研究技術シーズの事業化、ビジネス化に向けて、ピッチや販路・人材マッチングを行う「テックミーティング」を実施





主な実績:○大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC)

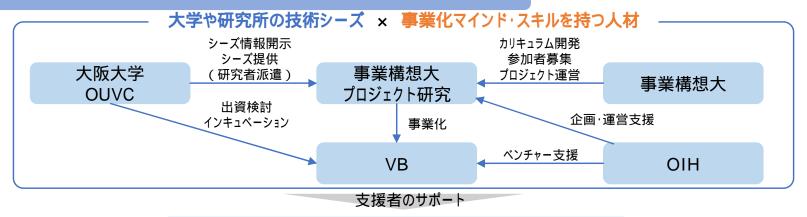
- ·OUVC Meet Up「ベンチャーによる阪大AI技術の活用」
- ·OUVC Innovators'Meeting
- ○けいはんな 産学連携テックミーティング
 - ・「先端シーズフォーラム "メタン"を"メタノール"に変換 常温常圧の次世代技術」
- ○関西大学
- ・社会課題解決のための、大学研究シーズ発表会

. 大学の取組

3 . 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携 2/2

スタートアップ創出・支援に関して産官学が密接に連携している

大阪大学×大阪事業構想大学院×OSAKA INNOVATION HUB



プロジェクト構想や事業計画の立案を学ぶ(2019.12.22開催)

スタートアップの誕生・成長

KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix

イノベーション人材の育成に取り組む関西の国公立・私立大学が集まり開催する学生ピッチコンテスト。各々の大学の授業やプログラムでピッチを磨いた学生が集まり切磋琢磨することで、関西のイノベーションエコシステムの土台作りをめざす。

参加大学:大阪大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学、 関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、近畿大学、 龍谷大学

【生態会】 関西にベンチャー投資200億円のコミュニティを創る

関西10大学・金融機関と連携し、起業支援を実施。 主なメンバー:

【起業支援】

起業情報の収集・発信/起業相談/起業イベント

サンブリッジグループ 会長兼CEO アレンマイナー 株式会社イルグルム 代表取締役 CEO 岩田進

さ〈らインターネット株式会社 代表取締役 田中邦裕

1. 都市の集積・環境の概要 (1/2)

大阪にはスタートアップを育成し成長させる基盤があり、今後グローバルにもその魅力を積極的に発信する

地理的優位性



大阪には、日本における西のゲートウェイとして、国内有数の 国際線ネットワークを提供する関西国際空港があり、京阪神 では伊丹空港、神戸空港も位置。スタートアップの海外進出、 誘致においてビジネスの利便性を有する。

内に限らず周辺からもスタートアップや学生が集う環境にある。

大阪で企業、大学が集う梅田は、京都、神戸の間に位置し、 各都市と鉄道で約30分という距離に近接しており、大阪府

スタートアップ環境の充実



梅田周辺の新大阪・西中島では、交通アクセス・賃料の安さ から、シード・アーリー期のスタートアップが集積し、「にしなかバ レー」を形成。なんばを中心とする南エリアでは外国人起業家 の聖地をめざした取組が進められ、北部ではライフサイエンス 関連の大学、研究機関の集積のもと優れたバイオベンチャーを 輩出する環境が整備されている。

大阪は多彩な産業を担う大企業や国内有数の大学が多く、 他都市に先駆けスタートアップ育成に取り組んできたことから、 産学官連携によるスタートアップの輩出・育成の土壌を有する。 近年はうめきた中心に支援機関や大学等が集積し、コミュニ ティの更なる強化が進む等、スタートアップが活躍する環境が 充実している。

グローバルへの対応



大阪市は年間延べ外国人宿泊者数828万人(来阪外国 人旅行者数1141万人)。市内に14か国の総領事館・領 事館が立地。在日米国商工会議所関西支部も活動。大阪 市は海外14都市とビジネス・パートナー都市(BPC)提携を 締結。提携都市が集まるラウンドテーブル会議を毎年開催。 「世界の都市総合ランキング」(森記念財団)で国内2位 (世界29位)。

ものづくり企業の集積

大阪は国内有数のものづくり企業の集積地であり、他都市と 比較して多様な業種が厚みを持ってバランスよく集積している。 製造機械の一つ一つの部品から最終製品まで、大阪で作る ことができないものはないといわれるフルセット型の産業構造も 大阪の特徴。また有機的な分業システムを形成し、各企業が それぞれの専門分野に特化し、高度な技術と企業ネットワー クで、高品質な製品の製造を実現。

ライフサイエンス拠点の集積



大阪北部を中心に、ライフサイエンス関連の優れた大学や研 究機関が立地しているとともに、大阪市内道修町などには製 薬企業が数多〈集積。さらに、関西一円からアクセスのよい大 阪都心部のうめきたに創薬支援機関等の集約や、中之島で 再生医療をベースに最先端の「未来医療」の産業化を推進 する「未来医療国際拠点」の形成を進め、産学官が一丸とな り、世界的な健康・医療関連産業のクラスター形成を目指し ている。

ビッグイベントの到来



大阪市では、2024年にうめきた2期区域の先行まちびらき、 2025年に大阪・関西万博があり、世界から最先端技術、人 材、資金の集積が見込まれる。

さらに現在進めている「大阪スマートシティ戦略」の策定を踏ま え、2025年大阪・関西万博に向け、大胆な規制緩和等によ り、「未来社会の実験場」にふさわしい、大阪モデルのスマート シティの実現を目指す。

1. 都市の集積・環境の概要 (2/2)

大阪・関西万博に向け、大阪の都市魅力を飛躍的に向上させ、スタートアップの活躍する機会を増大

【2025年大阪・関西万博までに大阪の成長を加速させる国際級のプロジェクト】



2025年 大阪·関西万博



提供:経済産業省

2024年 うめきた2期先行まちびらき

2024年 未来医療国際拠点(中之島)

2022年

大阪府立大学・大阪市立大学の統合による新大学誕生

2020年 京阪神の相互連携によるスタートアップ支援開始 2019年 大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム設立

2019年 G20 サミット

2. スタートアップ支援の中心となる施設・場 (公的施設・民間施設)

スタートアップの目的やステージに応じた様々なスタートアップ支援施設・場が存在

(1)公的施設

大阪イノベーションハブ(OIH)(大阪市) USAMA IMMUNITUM BUB スタートアップ育成、大企業等との出会いと連携の場・拠点施設





グランフロント**大阪 大阪**イベーションハブ (実施しているプログラム)

ピッチイベント

スタートアップから大企業等へ、連携等に向けてビジネスプランを紹介

オープンイノベーション

大企業がスタートアップへ課題を説明、スタートアップは解決策を提案し連携を探る。

具体的な事業の例

グローバルイノベーション創出支援事業 144.613千円

OIHの運営ほか、Get in the Ring等のスタートアップ参加の国際ビッチイベント、大企業とのオープンイノベーションなど、プロジェクト創出やネットワーク構築等の支援を実施。世界から人材・資金・情報を引き込む。

OIHシードアクセラレーションプログラム(OSAP) 35.884千円

公募で毎年20社のスタートアップを選定。4ヶ月の間に本市も出資するVC等からの資金調達をはじめ、大企業とのメンタリング・連携、メディア露出の機会を提供し、事業の加速化を支援、過去受講5社の海外展開を支援。

OSAP**の成果** (2016**年**4**月**~2019**年**9**月**) 支援したペンチャー (10 社×7期=70社) 資金調達額 55億円以上 大企業との連携 66 例 メディアへの掲載 293 回

(2)民間施設

ナレッジキャピタル ((一社)ナレッジキャピタル)

GVH#5 (阪急電鉄(株))

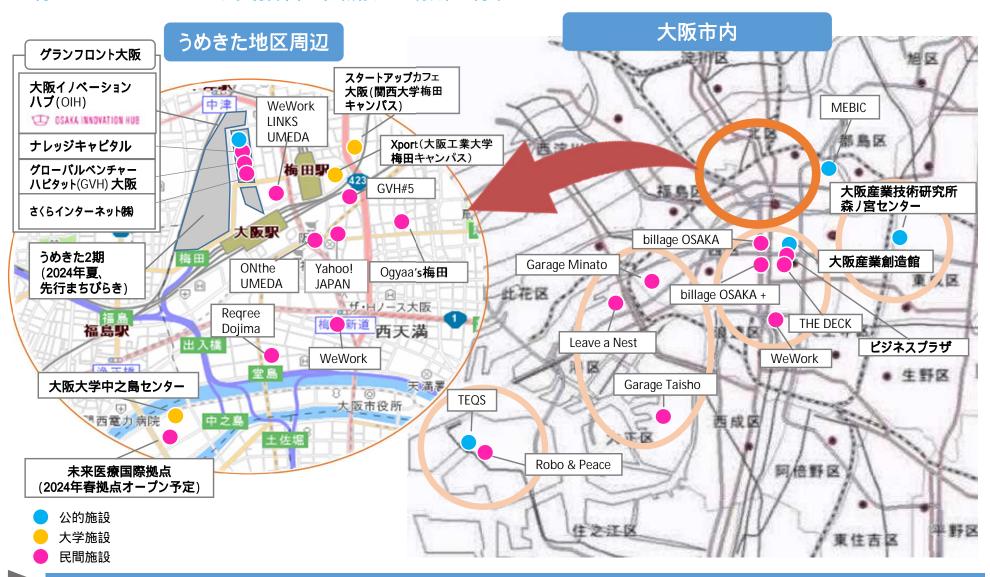
スタートアップカフェ大阪(関西大学×TSUTAYA)

Xport (大阪商工会議所×大阪工業大学)

彩都バイオヒルズ(民設公認レンタルラボ)

3 . <u>スタートアップや支援者の交流する場</u> (シェアオフィス、カフェなど)

様々なスタートアップや支援者が交流する場所が存在



大阪駅北側の「うめきた地区」では、スタートアップ支援施設の集積が進む。大阪市イノベーション拠点立地促進助成制度承認施設(13か所開設)などにより、大阪のイノベーション創出環境の整備が着実に進んでいる。

4. スタートアップ関連イベントの開催状況

スタートアップ関連イベントが多く開催されている

イベント名	場所	主催者	参加
HACK OSAKA 2019 国際イノベーション会議	コングレコンベンションセンター (グランフロント大阪内)	HACK OSAKA 2019実行委員会 (大阪市他)	757人
グローバル・イノベーション・フォーラム2019(GIF)	ナレッジプラザ (グランフロント大阪内)	大阪商工会議所 大阪外国企業誘致センター(O-BIC)	534人
Kansai Future Summit 2019	なんばスカイオ	Kansai Future Summit 2019 実行委員会	322人
ベンチャーイノベーションサミット OSAP×Booming!	グランフロント大阪うめきたSHIP HALL	大阪府、大阪市	197人
モーニングミートアップ 月2回のピッチイベント、通算132回	大阪イノベーションハブ(OIH)	デトロイトトーマツ·ベンチャーサポート / 大阪イノベーションハブ(OIH)	毎回50~100人
女性起業家応援プロジェクト ビジネスプラン発表会「LED関西」	コングレコンベンションセンター (グランフロント大阪内)	近畿経済産業局	371人
Friendly Meet Up KANSAI リバースピッチ	大阪イノベーションハブ(OIH)	関西経済同友会 関西版ベンチャーエコシステム委員会	126名

参考資料・PRシート

<u>大阪のポテンシャル</u>

大阪はスタートアップ・エコシステム拠点都市として、東京に次ぐポテンシャルを有している

項目	大阪のポテンシャル
世界都市総合カランキング	「世界の都市総合力ランキング」(森記念財団)では、「総合ランキング」 「スタートアップ環境」ともに国内では東京に次いで2位。 ・総合ランキング:大阪は世界29位(東京は同3位)。 ・スタートアップ環境:大阪は世界35位(東京は同24位)。
地域コミュニティの形成	大阪府のスタートアップ数は、東京都に次いで全国2位。 出身大学別のコミュニティに加え、にしなかバレー、EO Osaka 、 秀吉会、OSAP Alumni Meeting などの地域コミュニティが形成。 ・地域コミュニティが連携しKansai Future Summit(2019年11月)発足。
スタートアップの潜在力	大阪府の年間新規開業数は、東京都に次いで全国 2 位。 大阪府の大学発ベンチャーは、東京都に次いで全国 2 位。 大阪府の高度外国人材は、東京都に次いで全国 2 位。
多様な大企業の集積	大阪は大企業の集積が東京に次いで全国 2 位。 ・関西経済同友会が「ベンチャーフレンドリー宣言」。 ・関西ブリッジフォーラムのシニアメンターによるスタートアップ支援。 ・関西経済連合会がABCプラットフォーム「スタートアップ部会」を開設。
スタートアップの活動を 支える専門家が集中	スタートアップの活動を支える弁護士、公認会計士、経営コンサルタ ントの数が東京に次いで全国 2 位。

<u>目標達成に向けた主な取り組み(チャレンジ)</u>

コンソーシアムでは目標・KPI達成に向け、次の取組にチャレンジ。
・大企業の参画促進、・大学の技術の活用促進、・グローバル化、・VC・金融機関の取組推進、・スーパーシティ・スマートシティへの対応、など大阪のエコシステムの課題の解決にも挑む。

1.目標:スタートアップの創出

項目

目標達成に向けたチャレンジ(主な取組)

大学発スタートアップの創出拡大

スタートアップと金融機関・V C、 支援機関との交流機会

スタートアップ調達

ベンチャー型事業承継

試作支援、共同研究支援

シード期~アーリー期のスタート アップに対する初期支援(資金調 達支援、人材マッチング支援、メン ター支援など) 大学のシーズを活用した特色ある起業家教育の拡充。【新】 (コンソーシアムの7大学による起業家教育ネットワークの形成。)

大学のOB人材(経営人材)と大学シーズのマッチングによるスタートアップ創出。【新】



詳細はP44参照

自治体によるアクセラレーションプログラムの提供。【拡充】
・シード期 : スタートアップ・イニシャルプログラムOsaka (SIO)

テックミーティング、ピッチイベント、さかい起業ラボ

スタートアップ向けのビジネスプランコンテスト (ピッチ)の拡充。自治体、大学、 民間組織による 資金調達、人材、メンター支援などの拡充。 【拡充】 起業家人材ネットワークの構築。 大阪コンソーシアムとの交流機会。 【新】

国内外のVC、金融機関とスタートアップとの交流機会の拡大。 国のGAPファンドの積極的な活用。【拡充】

金融機関、VCによる新たなファンドの創設(創業支援ファンド、ステップアップファンド、イノベーションファンド25 等)。【新】

ベンチャー型の事業承継の支援強化 (アトツギソン・アトツギピッチ、さかいセカンドスタートアップ)。【拡充】

大阪産業技術研究所によるスタートアップのイノベーション支援。【拡充】

<u>目標達成に向けた主な取り組み(チャレンジ)</u>

2.目標:スタートアップの成長

項目

目標達成に向けたチャレンジ(主な取組)

国が招致する海外トップアクセラ レーターとの連携

グローバル市場への参入

知財戦略の構築

ミドル期~レイター期のスタート アップに対する成長支援(資金 調達支援、経営人材支援、 グローバル化支援など) 国が招致する海外トップアクセラレーターと連携し、大阪のスタートアップの成長を加速させる 「スタートアップ活躍促進事業」の創設。【新】

自治体、民間組織によるアクセラレーションプログラムの提供。【拡充】

·ミドル期 : Booming! *62社対象。1社上場、1社上場承認、7社が上場準備。

·レイター期 : RISING!

スタートアップ・コミュニティのネットワーク化。京阪神に拡大。【新】

金融機関によるスタートアップのイノベーション創出拠点。【新】

金融機関による資金調達支援、CFO等の人材マッチング支援強化。【新】

スタートアップへの大企業からの人材流動化(経営人材等の派遣、研修、転職、兼業・副業)を促進。【拡充】

スタートアップと大企業とのマッチングによる新産業創出支援の強化。【拡充】

INPIT近畿統括本部によるスタートアップの知的財産戦略支援。【拡充】

JETRO大阪本部によるスタートアップの海外展開支援。【拡充】

ベンチャー調達制度、新商品認定制度の活用促進。【拡充】

<u>目標達成に向けた主な取り組み(チャレンジ)</u>

3.目標:起業家の聖地

項目

目標達成に向けたチャレンジ(主な取組)

グローバル化の促進



詳細はP45参照

海外への情報発信機能の強化

国際イベントによる認知度向上

海外スタートアップ、投資家、 アクセラレーターの誘致

外国人起業家の育成

大阪産業局を中心に大阪コンソーシアムの海外情報発信機能の整備。【新】 ・WEB発信。海外メディアを通じた発信。

国際イノベーション会議 HACK OSAKAの実施体制の強化 (JETROとの連携) 【拡充】

海外アクセラレーションプログラム「StartupBootCamp Scale Osaka」に参加している 海外スタートアップ(約450社応募 13社採択)の大阪定着を促進。【新】



詳細はP46参照

大阪商工会議所が海外スタートアップを招聘して国内企業をとの協業を促進する「グローバルイノベーションフォーラム」を開催。【拡充】

スタートアップビザの活用促進 (大阪市が2019年3月から運用開始) 【拡充】 ・大阪産業局がスタートアップビザ相談窓口を開設・周知強化。

「YOLO BASE」(外国人就労トレーニング施設)やエール学園(留学生が多数就学)が立地する大阪ミナミに外国人起業家の育成拠点を形成。【新】

うめきたにおいて、国内外スタートアップと関西の大学やものづくり企業等との連携を促進。【拡充】

関西経済連合会がABCプラットフォーム「スタートアップ部会」を設立し、スタートアップのグローバル化を促進。【新】

<u>目標達成に向けた主な取り組み(チャレンジ)</u>

4.目標:スタートアップの活躍

項目

目標達成に向けたチャレンジ(主な取組)

2025年大阪・関西万博は「いのち輝〈未来社会」がテーマ。 革新的イノベーションの担い手である内外のスタートアップが、大企業や中堅・中小企業と連携して 活躍できる機会提供。【新】

未来社会の実験場である大阪・関西万博において、内外のスタートアップの技術やシステムを世界に 向けてデモンストレーション。【新】

MICE機能の拡充に向けたスタートアップと関連企業とのマッチング機会の創出。【新】

2025年大阪・関西万博において スタートアップが活躍できる機会 の提供

2024年春、中之島に未来医療国際拠点がオープン

実証実験・社会実装の場の提供

2024年春、中之島に未来医療国際拠点がオープン。【新】

再生医療をベースに、ゲノム医療やAI・IoTの活用など、最先端の「未来医療」の産業化を推進。 ライフサイエンス系のスタートアップのインキュベーションスペースを設け、医療機関、大学・研究機関、 企業、VCとのオープンイノベーションの場を提供。



詳細はP47参照

大阪商工会議所が「うめきた推進協議会(2期)」と連携し、内外の医療系スタートアップを発掘する「MEDTECHCONNECT OSAKA」を実施。【拡充】

・大阪、メルボルン、シンガポールの3拠点連携で、メドテックに特化したブートキャンプやアクセラレーター プログラムを実施。【拡充】

大阪府、大阪市、大阪商工会議所において大阪で実証実験に取り組むスタートアップ等を支援する 「実証事業推進チーム大阪」を推進。【拡充】

大阪府市でスマートシティ・スーパーシティへの対応を推進【新】



詳細はP48参照

泉北ニュータウンを次世代ヘルスケアビジネスの実証・実装の場とし、地域再生と産業創出を推進。【新】

参考資料・PRシート

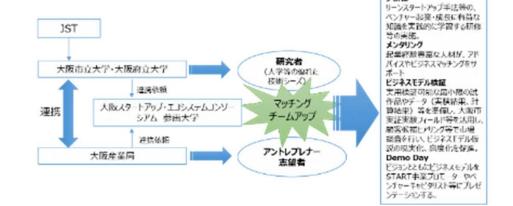
起業家教育、大学発ベンチャー創出における新たな取組

【大阪府立大学·大阪市立大学】

JST START (研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム) SCORE (社会還元加速プログラム) 大学連携枠に提案予定

https://www.jst.go.jp/start/jigyo/score.html

- 大阪府立大学、大阪市立大学が共同で申請予定
- 大阪市立大学の健康科学イノベーションセンターをベースとしたヘルスケア分野を一つの柱
- リビングテック、トラベル&エンタメテック、フード&アグリテック、エネルギーテックも視野
- プログラムへの参加をコンソーシアム参画 7 大学にも呼びかけ



ワークショップ・ブラッシュアッ

【大阪大学】

○大阪大学共創機構が、2020年にうめきたに拠点を整備し、Innovators'Clubの学生や大阪大学ベンチャーキャピタルの都心部での活動を促進。これに伴い、距離の課題が解消され、阪大技術シーズを活かしたベンチャー創出、阪大発ベンチャーのグローバル化が促進される。

(活動予定)

- ·阪大の技術シーズと関西の主要大学のOB人材(経営人材)のマッチング。
- ・阪大の技術シーズとうめきたに集う国内外のVC、スタートアップとのマッチング及びGAPファンドの積極活用。
- ·大阪テックプランター、T-CEP等民間のプログラムの活用。
- ○海外の大学と連携し、事業化やベンチャー創出も視野に共同研究を促進。

【その他】

○全国データ・AIアイディアソン関西予選が2020年3月に開催(大阪大学共創機構 人材育成部門が事務局を担当)参加チームは、外部専門家のメンタリングを得ながら、データ・AIの利活用で社会課題解決やビジネスに繋がるアイデアの創出をめざす。 関西地区の大学から広〈参加を予定。

大阪のスタートアップエコシステムのグローバル化

新たな取組

世界に伍する拠点を目指し、官民が既存の取組みを拡充するとともに、新たな取組を実施

自治体の取組み

グローバル化の促進

・スタートアップ活躍促進事業を新たに開始し、国が招致する海外アクセラレー ターと連携し、大阪のスタートアップのグローバル化を促進

海外ネットワークの拡充

·海外イノベーション機関とMOU締結を促進

外国人起業家の育成

・民間との連携によるスタートアップビザの活用促進

情報発信の強化

- ・大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアムの海外情報発信機能の整備
- ・大阪の魅力やビジネス環境等を紹介するホームページを英語と日本語で作成

民間の取組み

グローバル化の促進、海外ネットワークの拡充等

関西経済連合会

アジア・日本におけるビジネスの創出、経済の活性化を目的とする ABCプラットフォームにおいて、新たにスタートアップ部会を設立し、 スタートアップのグローバル化を促進

大阪商工会議所

国内外の優良な医療系スタートアップを発掘する「MEDTECH CONNECT OSAKA」にて、大阪、メルボン、シンガポールの3拠点連携でブートキャンプやアクセラレーションプログラムを実施

INPIT-KANSAI

スタートアップ向けの知財情報分析支援、知財アクセラレーションプログラム等を通じて、海外進出戦略立案、国際競争力強化を支援

【現在の主な取組】

グローバルイベント

国際イノベーション会議 「Hack Osaka」

グローバル・イノベーション フォーラム

スタートアップの海外進出支援

Startup World Cup 日本予選の開催

Get in the Ring 日本予選の開催

海外見本市出展補助

2020年 シンガポール SFF×SWITCHの出展支援を予定

OSAP**アラムナイ**

海外ネットワーク

海外の国や都市と連携協定・イベントの共催や共同プロジェクト等のネットワーク構築



JETRO

グローバル・ アクセラレーション・ハブ

O-BIC

大阪のプロモーション 及び外資誘致 ■

海外スタートアップの大阪への定着促進

海外スタートアップの誘致 「Startupbootcamp Scale Osaka」 欧州最大級のアクセラレ-ションプログラム ~ 世界の卓越したスタートアップが関西を起点に日本の大企業と協業を推進 ~

- ・「Startupbootcamp」とは、世界的なベンチャー支援大手 Rainmaking Innovation LTD が運営する欧州最大級 のアクセラレーションプログラム。
- ・その特長として、世界の複数都市を訪問し、現地での面談や 事業発表会等を通じてスタートアップを発掘する点等が挙げ られ、これまで世界18都市でのプログラム開催と700社以上 のスタートアップ支援実績を有する。
- ・日本初開催となる本プログラム「Startupbootcamp Scale Osaka」では、日本企業7社が、世界の有望なスタートアップ との協業を通じた関西起点による世界のスタートアップの成長 促進を目指して、2019年より3年間(1年間1サイクルとして計3回)にわたって実施予定。
- ・2019年は「Smart City & Living (次世代都市と未来の暮らし)」をテーマに、ミドルステージ以降のスタートアップを対象に募集した結果、世界各国から計455社が応募。
- ・うち13社を選抜し、現在パートナー企業との実証実験・協業に向けたプログラムを推進中(2月末にデモディ実施予定)。

【プログラム概要】

Startupbootcamp Scale Osaka

実施主体	Rainmaking Innovation Japan合同会社 (英国 Rainmaking Innovation 設立の日本法人)	
パートナー企業	さくらインターネット株式会社 株式会社JR西日本イノベーションズ 株式会社電通 日本たばこ産業株式会社 阪急電鉄株式会社 (業務代行者:阪急阪神不動産株式会社) 株式会社三井住友銀行 株式会社読売新聞大阪本社	
テーマ	Smart City & Living (次世代都市と未来の暮らし)	
サブテーマ	Mobility(移動) Living(暮らし) Health & Wellbeing(健康) Tourism(観光)	
2019 年スケジュール	2019年6月~2020年5月	
実施場所	GVH#5(大阪市北区角田町)他	
後援	関西経済同友会、関西経済連合会、JETRO大阪本部	
協力	大阪府、大阪市、大阪商工会議所	



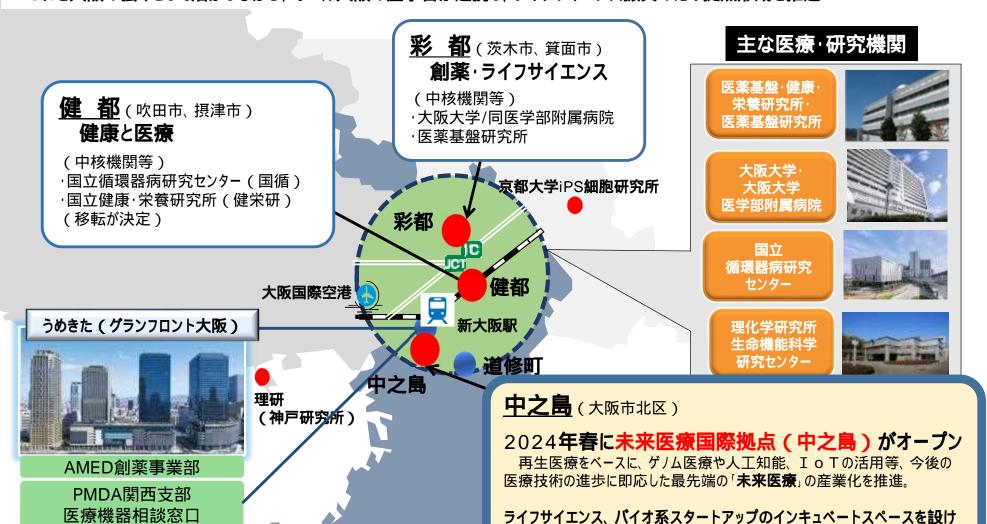
本プログラムを契機として、関西と海外の有望なスタートアップや世界中のスタートアップ・コミュニティとの結びつきが強まることにより、海外スタートアップの関西進出と関西スタートアップの海外進出が促進され、関西が国際的なスタートアップ・ハブへと成長する一助となることをめざす。

未来医療国際拠点開設

ライフサイエンス産業の強み 健康・医療関連産業のクラスター形成

関西国際空港

大阪には優れた大学・研究機関等が多数立地すると共に、製薬企業等が集積
これを大阪の強みとして活かしながら、オール大阪の産学官が連携し、ライフサイエンス振興のため拠点形成を推進



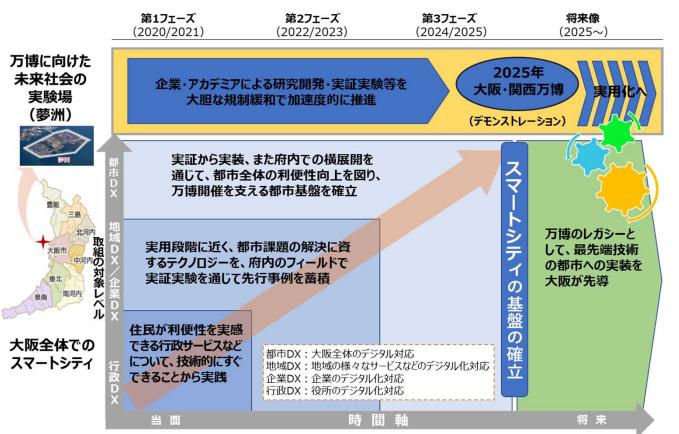
ざす。

るとともに、医療機関、大学・研究機関、大企業、VC等支援機関とのオープンイノペーションの機会を提供し、更なるスタートアップの輩出をめ

スマートシティ・スーパーシティへの対応

【大阪スマートシティ戦略Ver1.0(素案)(令和2年2月 大阪府·大阪市)】

- ・次のスケジュール(イメージ)で「大阪モデル」のスマートシティの基盤の確立をめざす。
- ・併せて、スーパーシティ構想を含めた国の特区・規制緩和制度等の活用により、企業やアカデミアの万博に向けた未来社会の先 駆的な取組(研究開発・実証実験・実装)を後押しする。



万博開催を*契機に* スーパーシティを実現

大阪・関西の都市力の向上

日本全国・世界への波及効果

発信 うめきた2期 地区で試み

2025年 実験 大阪・関西 万博

夢洲 まちづくり

万博後

未来社会の実験場 "People's Living Lab"

SMART RESORT CITY 夢と創造に出会える未来都市

- ・万博開催前に、うめきた2期地区で最先端技術の導入に 向けた試みを発信
- ・2025年 万博で、幅広〈最先端技術を経験できる場を創出
- ・万博での成果を活かし、夢洲においてスーパーシティを実現し、 世界に誇る魅力ある国際観光拠点の形成をめざす

実現